



メディアアラート

2018年12月4日

AWS、8つの新たなストレージサービスおよび機能を発表

Amazon S3 Intelligent-Tiering, Amazon S3 Glacier Deep Archive, Amazon S3 Batch Operations, Amazon FSx for Windows File Server および Amazon FSx for Lustre, Amazon EFS Infrequent Access, AWS DataSync, AWS Transfer for SFTP

(シアトル発、2018年11月28日発表) [Amazon.com, Inc.](https://www.amazon.com) (NASDAQ:AMZN) の関連会社である Amazon Web Services, Inc. (AWS) は本日、AWS re:Invent にて、以下の8つの新たなストレージサービスおよび機能を発表しました。

- Amazon S3 Intelligent-Tiering: 不明または変動するアクセスパターンを持つデータを最もコスト効率に優れたストレージティアに移動させることでストレージコストを自動的に最適化する新たな Amazon S3 ストレージクラス
- Amazon S3 Glacier Deep Archive: GB/月当たりわずか 0.00099ドル(1セントの10分の1未満、または TB/月当たり1ドル)という、現在、クラウドプロバイダーが提供しているサービスの中で最もコストの低いストレージを提供する新たなストレージクラス
- Amazon S3 Batch Operations : AWS Lambda 機能の実行や数十億のオブジェクトに対して変更を容易にするバルクストレージ管理および自動化機能
- Amazon FSx for Windows File Server: アプリケーションを AWS にリフト&シフトするためのフルマネージドの Windows ベースの共有ファイルストレージを提供
- Amazon FSx for Lustre: 高性能コンピューティング、機械学習、メディアデータプロセッシングワークフローなど、コンピューティングインテンシブなワークロード向けに最適化されたフルマネージドのファイルシステム
- Amazon EFS Infrequent: EFS 標準ストレージクラスに比較してストレージコストを最大 85%削減できる、アクセス頻度の低いファイル向けに設計された Amazon EFS 向けの新たなストレージクラス
- AWS DataSync: ネットワークアクセラレーションを使用して、オンプレミスストレージと Amazon S3 または Amazon EFS 間のデータ移行を容易に自動化できるデータ転送サービス
- AWS Transfer for SFTP: SSH (Secure Shell) ファイル転送プロトコルとしても知られる SFTP (Secure File Transfer Protocol) を使用して、Amazon S3 との間で直接ファイルを転送できるフルマネージドサービス

新たな AWS ストレージサービスおよび機能に関しては、以下の URL を参照ください。

<https://aws.amazon.com/storage/>

AWS のエンジニアリング担当バイスプレジデントのビル・バスの (Bill Vass) は「当社のお客様は私たちに、ストレージは日々行うあらゆる作業の基盤であると述べています。様々なストレージインフラストラクチャを含む当社のフルマネージドサービスにより、お客様は自社のビジネスアプリケーションを迅速かつ大規模に、容易に、コスト効率良く拡張することができます。本日発表された新たなサービスからもお分かりのように、当社はストレージサービスのイノベーションを完了したわけではなく、あらゆる種類のアプリケーションで最高性能を提供しながら、ストレージ管理の自動化、データ移行の簡素化と迅速化、コスト削減を実現することに取り組んでいます」と述べています。

最も一般的なクラウドストレージサービスを拡張する新たなオブジェクトストレージクラスおよび機能

最も優れた拡張性、データ可用性、セキュリティ、性能を提供する Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) により、あらゆる規模のお客様は幅広いユースケースにおいて様々な規模のデータを保存、保護できます。AWS は今週、ストレージインフラストラクチャの拡張性をより一層高め、コストを最適化できる、複数の新たな Amazon S3 機能を発表しました。

- **Amazon S3 Intelligent-Tiering** (本日より提供開始): 不明または変動するアクセスパターンを持つデータのストレージコストを自動的に最適化する新たな Amazon S3 ストレージクラス。S3 Intelligent-Tiering は、データを最もコスト効率に優れたストレージティアに自動的に移動させることでダイナミック

クティアリングを提供する業界初で唯一のクラウドストレージソリューションです。これまでアクセスパターンを予測できるデータに関しては、ライフサイクルポリシーを使用し簡素化することで、Amazon S3 に保存されているデータのコストを削減していました。しかし、アクセスパターンが変動するデータを持つお客様には、新たなアプローチが必要でした。S3 Intelligent-Tiering は、複数のリージョンにまたがる数百万のバケットへの数十億のオブジェクトのアクセスパターンに基づき、機械学習モデルを使用して S3 Intelligent-Tiering アルゴリズムをトレーニングすることで開発されました。お客様は自社のデータをロードするだけで、S3 Intelligent-Tiering が変更費用なしに、自動でコストを最適化してくれるため、全く管理の必要がありません。

- **Amazon S3 Glacier Deep Archive** (2019 年初めに提供予定) : GB/月当たりわずか 0.00099 ドル (1 セントの 10 分の 1 未満、または TB/月当たり 1 ドル) という、あらゆるストレージサービスの中で最もコストの低い新たなストレージクラス。Amazon S3 Glacier Deep Archive により、大規模なデータ群を長期間保存したいお客様は、テープインフラストラクチャのコストと管理の手間を省ける一方で、データを安全に保存し、将来の使用や分析に役立てることができます。カルテなどの診療記録やメディアのアーカイブ、規制された金融サービス情報といったデータをアーカイブするのに最適なサービスです。
- **Amazon S3 Batch Operations** (2019 年初めに提供予定) : 数千、数百万、数十億のオブジェクトの管理を容易にするバルクストレージ管理および自動化機能。大規模なデータ群を扱うお客様は数百万、数十億のオブジェクトを確実に管理できる方法を必要としています。S3 Batch Operations により、開発者と IT 管理者はオブジェクトのプロパティとメタデータを変更し、一度の API リクエストまたは Amazon S3 マネジメントコンソール内で数回クリックするだけで、多くの Amazon S3 オブジェクトのストレージ管理タスクを実行できます。例えば、Amazon S3 Batch Operations を使用することで、オブジェクトタグの置き換え、アクセス管理の変更、オブジェクト保持データの追加、一つのバケットから別のバケットへのオブジェクトのコピー、さらには Amazon S3 に保存されている既存のオブジェクトに対して Lambda の機能を起動することができます。

2 つの新たなファイルシステムオプションと既存の Amazon Elastic File System 向けの低コストなストレージクラス

今週、AWS は、Windows とコンピュータインテンシブなワークロード (Lustre を使用) をネイティブサポートする 2 つの新たなフルマネージドのサードパーティー製ファイルサービスシステムを含む、Amazon FSx ファミリーを発表しました。また、Linux ベースのワークロード向けの成長著しいファイルシステムサービスである Amazon Elastic File System (EFS) 向けの新たな Infrequent Access ストレージクラスも発表しました。

- **Amazon FSx for Windows File Server** (本日より提供開始) : Windows 互換ファイルシステム向けのクラウドベースのフルマネージド Windows ファイルサーバー。Windows サーバーを基盤に開発された Amazon FSx for Windows File Server は、Microsoft Windows ファイルシステムに完全互換しており、Active Directory ドメインや Windows アクセス管理、ネイティブの Windows Explorer 体験など、お客様の Active Directory 環境に完全統合されます。クラウド向けに開発された Amazon FSx for Windows File Server により、最新の Windows サーバーソフトウェアのインストール、ハードウェア不具合の特定と修正、定期的なバックアップなどを自動で実行するなど、AWS のフルマネージドサービスの恩恵を得られます。
- **Amazon FSx for Lustre** (本日より提供開始) : 高性能コンピューティングや機械学習、メディアデータの処理作業といったコンピュータインテンシブなワークロード向けに最適化されたフルマネージドのファイルシステム。これらのアプリケーションの多くは、高性能で低遅延、スケールアウト型の並列ファイルシステムを必要とします。Amazon FSx for Lustre により、大規模なデータ群を、数百万の IOPS とサブミリ秒の遅延で、1 秒あたり最大数百ギガバイトのスループットで処理できる Lustre ファイルシステムを起動し、稼働することができます。
- **Amazon EFS Infrequent Access** (2019 年初めに提供予定) : Amazon EFS 標準ストレージクラスに比べてストレージコストを最大 85% 削減できる、アクセス頻度の低いファイル向けに設計された Amazon EFS 向けの新たなストレージクラス。EFS IA は、毎日アクセスしないファイルデータを持つお客様に最適なソリューションですが、プロセスを変更したり、ストレージティア間で手でデータを移動させることなく、全てのデータ群にアクセスし、ビジネスアプリケーションのニーズに対応する必要があります。EFS IA により、Amazon EFS を使用しているお客様は、ライフサイクル管理が可能になり、30 日以上アクセスしていないファイルを自動的に EFS IA ストレージクラスに移動させることができます。

大規模なデータ群を容易に転送し、安全に共有できる新たな AWS サービス

データ転送に関しては、AWS はデータを AWS に取り込む 11 の独自の方法を提供しており、これは他のクラウドストレージプロバイダーに比較して約 2 倍の数に相当します。今週、AWS は 2 つの新たなデータ転送サービスを発表しました。

- **AWS DataSync**(本日より提供開始): ネットワークアクセラレーションを利用して、オンプレミスストレージと Amazon S3 または Amazon EFS 間のデータ移行を容易に自動化できる、ネットワーク・アクセラレーションを使用したデータ転送サービス。AWS DataSync は、自社インスタンスの稼働や、暗号化の処理、スクリプト管理など、移行を遅らせたり、IT 管理者の負担となり得る、データ転送に関連する多くのタスクを自動で処理します。AWS DataSync は、オープンソースのツールに比べて最大 10 倍高速で、安全かつ確実、効率的にデータを転送します。
- **AWS Transfer for SFTP**(本日より提供開始): SSH(Secure Shell)ファイル転送プロトコルとしても知られる SFTP(Secure File Transfer Protocol)を利用して、Amazon S3 との間で直接ファイルを転送できるフルマネージドサービス。証券取引、カルテなどの診療記録、請求書など、SFTP を介してファイルを安全に交換する必要のあるお客様は、Amazon S3 にこれらのデータを移動し、確実にデータを保存し、分析したいと考えています。AWS は、既存の認証システムと統合し、Amazon Route 53 に DNS ルーティングを提供することで、お客様やパートナー側では何の変更も加えることなく、自社のファイル転送ワークフローをシームレスに AWS Transfer for SFTP に移行できるようにしました。Amazon S3 内のデータに関しては、AWS サービスを使用して、処理、分析、機械学習、アーカイブを行うことができます。

アマゾン ウェブ サービスについて

アマゾン ウェブ サービス(AWS)は 12 年の間に、世界で最も包括的かつ幅広く採用されたクラウドプラットフォームになっています。AWS は、米国、オーストラリア、ブラジル、カナダ、中国、フランス、ドイツ、インド、アイルランド、日本、韓国、シンガポールおよび英国の 19 の AWS リージョン、1 つのローカルリージョンと 57 のアベイラビリティゾーン(AZ)で、コンピューティング、ストレージ、データベース、ネットワーク、アナリティクス、マシンラーニング、人工知能(AI)、モノのインターネット(IoT)、モバイル、セキュリティ、ハイブリッド、仮想現実及び拡張現実(VR/AR)、メディア、アプリケーションディベロップメント、デプロイメントおよびマネージメントに関する 125 種類以上の十分な機能を有するサービスを提供しています。AWS のサービスは、アジリティを高めながら同時にコストを削減できるインフラエンジンとして、急速に成長しているスタートアップや大手企業、および有数の政府機関を含む数百万以上のアクティブなお客様から信頼を獲得しています。AWS の詳細については以下の URL をご参照ください。<https://aws.amazon.com/>

Amazon.com について

Amazon は 4 つの理念を指針としています。競合他社ではなくお客様を起点にすること、創造への情熱、優れた運営へのこだわり、そして長期的な発想です。カスタマーレビュー、1-Click 注文、パーソナライズされたおすすめ商品機能、Amazon プライム、フルフィルメント by Amazon(FBA)、アマゾン ウェブ サービス(AWS)、Kindle ダイレクト・パブリッシング、Kindle、Fire タブレット、Fire TV、Amazon Echo、Alexa などは、Amazon が先駆けて提供している商品やサービスです。

報道関係からのお問い合わせ先

アマゾン ウェブ サービスジャパン株式会社

広報担当 河村

Email: awsjp-pr@amazon.com

####